

ダクタイトイル鉄管に関する 素朴な疑問集



GX形ダクタイトイル鉄管を水管橋に使用する場合の外面塗装はどうすれば良いでしょうか。



GX形ダクタイトイル鉄管は、管外面に「亜鉛系合金溶射＋封孔処理＋合成樹脂塗料層」で構成された外面耐食塗装が施されており、埋設環境においては、部分的に鉄部が露出してもこの耐食層の自己防食により防食機能を維持することが一つの特長です。ただし、水管橋のような露出配管では外面塗装には耐候性も要求されるため、GX形ダクタイトイル鉄管を水管橋に用いる場合は、外面耐食塗装ではなくJCPA Z 2009 で規定されている「外面特殊塗装」の種類:CCを施すこととしています。



何故、呼び径400のP-Link、G-Linkはラインアップされないのですか。



GX形は管路コスト低減、施工性向上、長寿命化の3つのコンセプトで開発されました。呼び径400のP-Link、G-Linkを実現した場合、それぞれ70kg超、40kg超の重量となります。この結果、材料価格が高くなることや、施工時にクレーンが必要になり、施工性が低下し、施工費も高くなってしまいます。このためGX形 呼び径400には、P-Link、G-Linkをラインアップしていません。



S50形ダクタイトイル鉄管は既設管とどのように接続すれば良いでしょうか。



S50形ダクタイトイル鉄管は、過去に規格化されていた呼び径50T形ダクタイトイル鉄管や他管種（鋼管、塩化ビニル管等）とは外径が異なるため、直接接続することはできません。既設管との接続は下記のケースが考えられます。

① 既設管路の末端部または既設管路の切管個所にS50形ダクタイトル鉄管を接続するケース

呼び径50T形ダクタイトル鉄管や他管種（鋼管、塩化ビニル管等）との接続は、S50形ダクタイトル鉄管専用の異種継手管[※]を用いて行うことができます。この異種継手管の一方は、S50形ダクタイトル鉄管の異形管受口形状になっており、S50形ダクタイトル鉄管の挿し口突部の有無にかかわらず接合が可能です。

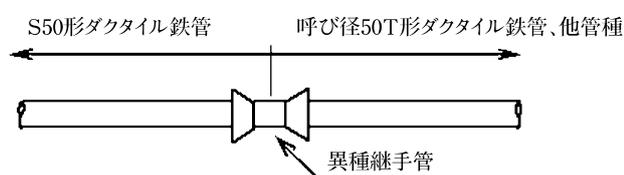


図1 呼び径50T形ダクタイトル鉄管や他管種との接続方法例

② 既設管路に分岐管を設けて、その分岐管にS50形ダクタイトル鉄管を接続するケース

既設管路を一部撤去した後に二受T字管を設置し、その分岐管にS50ダクタイトル鉄管を接続する場合は、分岐側が呼び径75の二受T字管を使用し、挿し受片落管[※]（挿し口：GX形もしくはNS形、受口：S50形）により、S50形ダクタイトル鉄管と接続できます。

また、不断水で分岐する場合には、不断水分岐工法により分岐側が呼び径50フランジ形の割T字管を設置し、S50形ダクタイトル鉄管の短管1号[※]もしくは2号[※]によりフランジ接合で接続できます。

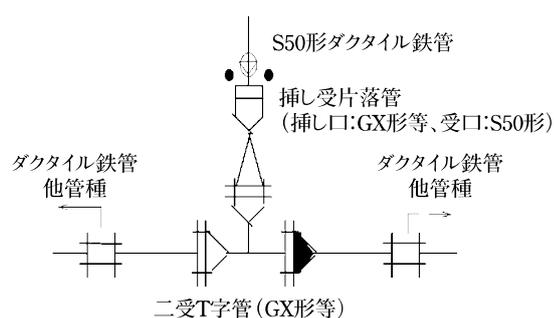


図2 既設管を一部撤去する方法例

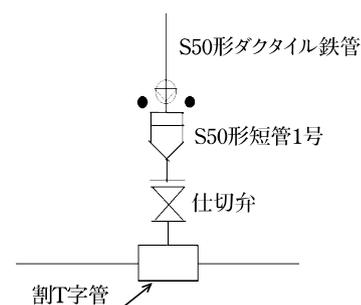


図3 不断水分岐を用いる方法例

[※]異種継手管、S50形ダクタイトル鉄管の挿し受片落管と受挿し片落管、短管1号と2号については、当協会規格では規定していませんが、メーカー規格により製造・販売されていますので、詳しくは会員メーカーにお問い合わせください。

次の時代の安全へ。

鉄蓋の基本性能を追求した革新的な基本構造と基礎調整部施工、そしてレジンコンクリート製下樹の組み合わせによって、次の時代へ持続する安全・安心で快適な生活環境を実現します。



新型消火栓用鉄蓋 RO-50/60

基本構造

RV支持構造

食い込み力を適切に制御することで「開けやすさ」と「ガタツキ防止」を両立

基礎調整部施工

ハイジスター®施工

ガタツキがなく堅牢で安定した基礎調整部を形成

レジンコンクリート製下樹

ハイピット®

すぐれた耐食性と高強度に加えてリサイクルにも対応
(日本水道協会規格適合品)

日之出水道機器株式会社

本社 福岡市博多区堅粕5丁目8番18号(ヒノアビルディング) TEL (092) 476-0777
東京本社 東京都港区赤坂3丁目10番6号(ヒノアビル) TEL (03) 3585-0418

日本の上下水道を支える—— TOHYAMAの鑄鉄管



■ 営業品目 上・下水道用 工業用水道用 ポンプ用
ダクトイル鑄鉄管 (口径75㎜~3,000㎜)



〔〇〕日本ダクトイル異形管工業会会員

株式会社 遠山鐵工所

本社 埼玉県久喜市菖蒲町昭和18番地
☎0480(85)2111 FAX0480(85)7100

フランジ形長管・乱長管
フランジ形異形管

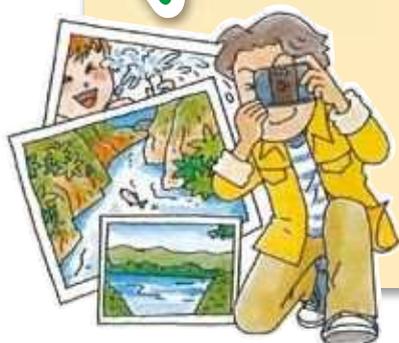
日本水道協会第1種検査工場・日本下水道協会資器材製造認定工場

九州 九州鑄鉄管株式会社

■本社
〒822-0033 福岡県直方市大字上新入1660-9
TEL 0949-24-1313 FAX 0949-24-1315
URL <http://www.kyucyu.co.jp>
E-mail info@kyucyu.co.jp

■東京支店
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-7
TEL 03-3294-5270 FAX 03-3294-5275

表紙写真 募集!!



当協会では協会誌「ダクトイル鉄管」を年に2回(5月中旬、10月中旬)発行しています。この協会誌の表紙写真を広く読者の皆様より募ることとしました。

● 募集テーマ

水のある風景

注) 水道施設やダクトイル鉄管に関連なくて構いません。

応募方法など詳しくは、

ダクトイル鉄管 表紙写真募集

検索

●●●●●●●●●● 編集後記 ●●●●●●●●●●

- 今号の巻頭言では、本年7月1日厚生労働省水道課長に就任された宮崎課長に執筆をお願いしました。2度目の水道課ということもあり、水道界の課題に強い危機感を抱かれているようで、力強い抱負をいただいていますので、ぜひご一読ください。
- 対談では、南海トラフ地震への対応について、岐阜大学の能島教授と名古屋市の山下次長に語り合っていました。能島教授から、様々な資料の提供を頂き、中でも「ライフライン機能の時空間的復旧過程についての見える化」の話では、今後、ライフライン事業者が支援側、受援側のどちらの立場になった時でも、防災対策等を立案するための資料に役立つことができると感じました。また、山下次長

からは現在の上下水道事業者では限られた人員の中での対応になり、住民の自助、共助の意識を高める心がけが重要であるとコメントいただき、名古屋市では住民との連携について防災訓練の機会などを通じて市民との協働を目指していると発言いただきました。

- 事業者の広報、市民の方々の触れ合いの取り組みとして92号から事業者だよりを掲載しています。今回も12事業者を紹介しています。各事業者の広報活動の一助になれば幸いです。また、この事業者だよりでは原稿も募集しています。
- 技術レポートは6編、更新工事、貯水槽の採用、管網評価、広報活動などバリエーションに富んだ内容となっています。



ダクタイトイル鉄管第95号〈非売品〉 平成26年10月15日 印刷
平成26年10月20日 発行

編集兼発行人 本 山 智 啓

発 行 所 一般社団法人
日本ダクタイトイル鉄管協会
(<http://www.jdpa.gr.jp>)

本部・関東支部	〒102-0074	東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館)
		電話03(3264)6655(代) FAX03(3264)5075
関 西 支 部	〒542-0081	大阪市中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウエスト)
		電話06(6245)0401 FAX06(6245)0300
北 海 道 支 部	〒060-0002	札幌市中央区北2条西2丁目41番地(セコム損保札幌ビル)
		電話011(251)8710 FAX011(522)5310
東 北 支 部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目5番1号(オーク仙台ビル)
		電話022(261)0462 FAX022(399)6590
中 部 支 部	〒450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)
		電話052(561)3075 FAX052(433)8338
中国四国支部	〒730-0032	広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階)
		電話082(545)3596 FAX082(545)3586
九 州 支 部	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル)
		電話092(771)8928 FAX092(406)2256

Next Standard



高機能ダクタイル鉄管

なんだ管だと
管カエルなら
NCKダクタイル鉄管

管路の更新や新設には、耐震性・
耐久性・耐蝕性に優れ、安全・確実な
施工性で定評のNCKダクタイル鉄管。

直管・異形管、鉄蓋など、
ダクタイル製管路システム一式を揃え、
製造から責任施工まで、NCKの一貫した
先進技術でお応えします。



日本鑄鉄管株式會社

本社・工場：〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼1番地 ☎(0480)85-1101(代) 東北支社：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-5-22 ☎(022)263-2731(代)
東京事務所：〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 ☎(03)3546-7671(代) 中部支社：〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番2号 ☎(052)582-9808(代)
北海道支社：〒003-0821 札幌市白石区菊水元町1条2丁目3番8号 ☎(011)871-4445(代) 九州支社：〒812-0037 福岡市博多区御供所町1-1 ☎(092)282-0201(代)

For Earth, For Life
Kubota



いつまでも
直接水道水が飲める
日本であるために。

GENEX

株式会社クボタ パイプシステム事業部 www.kubota.co.jp

本 社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 (06)-6648-3144 東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 (03)-3245-3161
北海道支社 (011)-214-3141 東北支社 (022)-267-8922 中部支社 (052)-564-5151 中国支社 (082)-546-0464 四国支社 (087)-836-3923 九州支社 (092)-473-2431